



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月6日

上場会社名 米久株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2290 URL http://www.yonekyu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 青柳 敏文 TEL 055(929)2797
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	113,417	7.5	3,570	354.9	4,139	612.9	2,927	—
26年2月期第3四半期	105,500	0.6	784	—	580	—	46	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 2,949百万円 (187.5%) 26年2月期第3四半期 1,025百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	115.40	—
26年2月期第3四半期	1.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	72,160	39,843	55.1	1,568.49
26年2月期	62,834	37,349	59.4	1,470.02

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 39,790百万円 26年2月期 37,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	4.1	4,700	136.3	5,200	183.0	3,600	301.6	141.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 — 社（社名 —）、除外 — 社（社名 —）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	28,809,701株	26年2月期	28,809,701株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	3,441,067株	26年2月期	3,441,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	25,368,709株	26年2月期3Q	25,368,844株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料に記載した予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果を背景に、企業の収益改善や株式相場の上昇など、緩やかな回復基調が見られましたが、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減や消費の低迷、急速な円安の進行による輸入原材料価格の上昇等、景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

食肉加工品業界におきましては、食肉相場は引き続き前年同期を上回る水準で堅調に推移したものの、一方で、原材料価格の高騰、ユーティリティ費用や物流費の増加等が収益の圧迫要因となりました。今後も、円安による原材料・副原料の仕入価格の高止まりや労働力不足の深刻化などが予想され、経営環境は楽観できない状況が続く見通しです。

このようななか、当社グループは、昨年4月に第5次中期経営計画を一部見直し、「中食・外食市場向け対応力の強化」「量販市場向け対応力の強化」「技術力・独自性の追求」「製造拠点の再編・新設、製造能力の増強」「販売体制の再構築」「食肉事業の強化」「物流・管理体制の見直し、損益管理の徹底」等の課題に、グループ全体で取り組んでまいりました。昨年からの原材料価格が大幅に上昇しているものの、営業体制の強化や製造能力の増強によって売上の拡大を図るとともに、生産性の改善、物流の効率化、リスク管理の徹底等により、収益力の向上に努めました。これらの取り組みに加えて、食肉相場の高値推移が収益の追い風となり、また、持分法による投資利益も増加し、利益は大幅に改善しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,134億17百万円（前年同期は1,055億円）、営業利益は35億70百万円（前年同期は7億84百万円）、経常利益は41億39百万円（前年同期は5億80百万円）、四半期純利益は29億27百万円（前年同期は46百万円）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工品事業>

ハム等は、ロースハムの製造ラインを増設し拡販に注力、主力商品のベーコンや焼豚・ローストビーフ等も好調に推移しました。ソーセージは、主力コンシューマ商品「御殿場高原あらびきポーク」や「あらびきフランク」が伸長しました。デリカは、トンカツ・春巻・ロールキャベツ等の売上増に加え、新たに「米久の肉だんご 黒酢たれ」のテレビコマーシャルを投入し、積極的な拡販に努めました。

以上の結果、加工品事業は、売上高が470億55百万円（前年同期は448億8百万円）と増加、営業利益は15億42百万円（前年同期は6億83百万円）と大幅に増加しました。

<食肉事業>

食肉相場が前年同期を上回る水準で推移し、生産事業の収益が高まりました。また、「六穀豚」「大地のハーブ鶏」「岩手めんこい黒牛」等のブランドミートの拡販、簡便性の高い一次加工品「マザーシェフ」の販促などに取り組むとともに、採算性を重視した営業活動に注力しました。

以上の結果、食肉事業は、売上高が649億32百万円（前年同期は591億8百万円）と増加、営業利益は21億28百万円（前年同期は1億2百万円）と大幅に増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ93億26百万円増加（14.8%増）して721億60百万円となりました。これは売掛金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計額は、前連結会計年度末に比べ68億33百万円増加（26.8%増）して323億17百万円となりました。これは買掛金や未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産額は、前連結会計年度末に比べ24億93百万円増加（6.7%増）して398億43百万円となりました。これは四半期純利益の増加に伴い利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績を踏まえ、平成27年2月期第2四半期決算短信（平成26年10月2日）で公表いたしました平成27年2月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成27年1月6日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,340	10,329
受取手形及び売掛金	14,880	20,898
商品及び製品	4,682	7,489
仕掛品	906	1,119
原材料及び貯蔵品	1,953	2,486
その他	971	1,287
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	34,731	43,606
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,569	8,286
土地	8,319	8,136
その他(純額)	3,432	3,924
有形固定資産合計	20,321	20,347
無形固定資産		
のれん	714	606
その他	665	571
無形固定資産合計	1,380	1,178
投資その他の資産		
その他	6,425	7,038
貸倒引当金	△25	△10
投資その他の資産合計	6,400	7,028
固定資産合計	28,103	28,553
資産合計	62,834	72,160
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,859	22,388
短期借入金	450	250
未払法人税等	510	1,313
賞与引当金	627	1,232
その他の引当金	—	22
その他	3,969	5,048
流動負債合計	23,416	30,255
固定負債		
長期借入金	75	—
退職給付引当金	489	516
その他の引当金	118	56
その他	1,384	1,488
固定負債合計	2,067	2,061
負債合計	25,484	32,317

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,634	8,634
資本剰余金	8,375	8,375
利益剰余金	21,716	24,187
自己株式	△2,738	△2,738
株主資本合計	35,988	38,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	502	599
繰延ヘッジ損益	36	154
為替換算調整勘定	765	577
その他の包括利益累計額合計	1,304	1,331
少数株主持分	57	52
純資産合計	37,349	39,843
負債純資産合計	62,834	72,160

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	105,500	113,417
売上原価	91,442	96,557
売上総利益	14,057	16,860
販売費及び一般管理費	13,272	13,289
営業利益	784	3,570
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	8	9
賃貸不動産収入	58	30
持分法による投資利益	—	382
その他	257	195
営業外収益合計	327	622
営業外費用		
支払利息	12	10
賃貸不動産費用	59	27
持分法による投資損失	427	—
その他	32	15
営業外費用合計	531	53
経常利益	580	4,139
特別利益		
持分変動利益	—	272
補助金収入	15	—
特別利益合計	15	272
特別損失		
固定資産除却損	107	37
減損損失	—	25
固定資産売却損	21	—
厚生年金基金特別掛金	13	—
特別損失合計	142	62
税金等調整前四半期純利益	453	4,349
法人税、住民税及び事業税	441	1,583
法人税等調整額	△32	△156
法人税等合計	408	1,426
少数株主損益調整前四半期純利益	45	2,922
少数株主損失(△)	△1	△4
四半期純利益	46	2,927

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	45	2,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	97
繰延ヘッジ損益	△111	117
為替換算調整勘定	98	36
持分法適用会社に対する持分相当額	730	△224
その他の包括利益合計	980	27
四半期包括利益	1,025	2,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,027	2,954
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,808	59,108	103,917	1,583	105,500	—	105,500
セグメント間の内部売上 高又は振替高	83	10,318	10,401	0	10,401	△10,401	—
計	44,891	69,427	114,318	1,583	115,901	△10,401	105,500
セグメント利益又は損失(△)	683	102	786	△1	784	—	784

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及び飲料の製造販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,055	64,932	111,987	1,430	113,417	—	113,417
セグメント間の内部売上 高又は振替高	49	11,900	11,950	—	11,950	△11,950	—
計	47,105	76,832	123,938	1,430	125,368	△11,950	113,417
セグメント利益又は損失(△)	1,542	2,128	3,670	△99	3,570	—	3,570

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及び飲料の製造販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。